

中部圏No.1のニンジン産地 碧南市のブランドニンジン
『へきなん美人』収穫最盛期！

【1月13日（金）／選果・選別・箱詰め作業と収穫風景を紹介します】

JAあいち中央碧南人参部会（部会長：杉浦千秋）が栽培する碧南市のブランドニンジン「へきなん美人」が、1月～2月にかけて収穫最盛期を迎えます。碧南市は中部圏No.1のニンジン産地。収穫は11月中旬から始まっていますが、この時期が一年で一番甘くなります。これは、ニンジンの防御機能が働き、気温が下がっても凍ってしまわないように、糖分を蓄えるためと言われています。

2022年度作は、お盆頃の適度な雨で順調に播種作業が行われ、その後は生産者の適切な管理により「へきなん美人」の名に恥じない品質に仕上がっています。

美しく、そして甘い「へきなん美人」

「へきなん美人」の特長は、鮮やかな紅色と強い甘さ。ニンジン独特の臭みが少ないので、子どもやニンジンが苦手な方でも食べやすいと好評です。

《色・味、それぞれのポイント》

鮮やかな紅色を出すには、根（食べる部分）が伸びる秋ごろに温度が下がりにすぎないことが重要。この地域では、約30cmの高い畝を立て、陽が当たる面積を増やすことで地面を温める工夫（これを行っている産地は珍しい）をしています。

甘みのポイントは①品種と②碧南の土質。「あいちの伝統野菜」の碧南鮮紅五寸をもとにしたオリジナル品種で、甘みの強い品種です。この種は部会員のみが使える門外不出のものです。また、碧南市はニンジンに最適な水はけの良い土質で、碧南で育てると、「どんなニンジンでも甘くなる」と種苗関係者の間で評判です。

JAあいち中央碧南人参部会

- 部 会 員：118人 ■栽培面積：約117ヘクタール
- 出荷時期：11月中旬～3月下旬（「へきなん美人」は3月上旬まで）
- 総出荷量：約8,000トンを計画
- 販 路：中京地方の市場を中心に、北陸・関西方面へ出荷



＜メディア対応日＞2023年1月13日（金）

＜1部＞作業場にて選果・選別・箱詰め作業撮影
生産者へのインタビュー

集合時間：午前9時50分

集合場所：JAあいち中央碧南みなみ支店
（碧南市塩浜町7-115）

＜2部＞圃場にて収穫作業撮影
生産者へのインタビュー

集合時間：午後1時20分

集合場所：JAあいち中央碧南ひがし支店
（碧南市照光町5-27）

※1部・2部で出演いただく生産者は変わりません。

※対応日前後の天候等で、日時を変更する場合があります。



（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL:0566-73-5504／携帯:080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp